

第3回

伊丹市未来デザイン

ワークショップを実施！

～テーマ～

「ブランドコンセプトの検討」

令和8年8月22日(土)9:30～12:00

伊丹商エプラザ6階 伊丹市立産業振興センター
マルチメディアホール

総合政策部経営戦略室

広報・シティプロモーション戦略課



ワーク1 ブランドコンセプト検討

“伊丹らしさって何だろう”をみんなで探す。そして言葉にしてみる。
その想いをつなぐ「ブランドコンセプト」を共に考え、つくる。

1班「住む・居る・スマイル(スタイル)」

単に寝に帰るだけのベッドタウンではなく、まち全体に自分の居場所(サードプレイス)がある状態を目指したい。

2班「いたみすと」など、伊丹を使った表現

「伊丹」という言葉自体を形容詞的に使って、伊丹を人格化する表現

3班「隠しておきたい街」

変わらないことも魅力の一つ。
ずっとこのままでいてほしいという想いを込めた。

4班「だから、伊丹」

人それぞれの想いや態度を汲み取り、実現できるまちだからこそ「伊丹」



5班「3つの『つ』(みんなでつながる・つづく・次の伊丹へ)」

昔から自分自身でまちを良くしてきた歴史があり、
今住んでいる人同士で繋がり、それを次の未来へ引き継いでいきたい。

ワーク1 ブランドコンセプト検討

6班「みんなが家族」

アットホームで本当の家族のような関係性がある。
実体験で地域の人達と集まれる居場所を作りたい。

7班「I to I(アイ・トゥ・アイ)」

自分らしさや個性の「I」、ご近所付き合いや見守られている愛の「I」、イノベーションの「I」、出会いやつながりの相(アイ)の「I」等、多義的な意味を込めている。

8班「みんなが一緒につながれる、 とかいなか」

住民同士が自発的につながる人情味や古くからの
伝統・田舎っぽさを重視。「顔が見える街」も目指したい。

9班「オールインワン」/ いい町「(I-I-M-A-T-I)」

すべてが詰まっている街として「オールインワン」。
伊丹(ITAMI)のローマ字を逆から読むと
「いい町」(I-I-M-A-T-I))と呼べる発想で、簡潔的
表現



10班「空が見える街」/ 「人と人がつながる街・交わる街」

機能的価値として「空が見える街」、情緒的価値として
「人と人がつながる街・交わる街」を着想した。

ワーク2 ブランドコンセプトをもとに、 自分にも“できそうなこと”“やってみたいこと”

今日思いついたみなさんの「これならできるかも」
その「できるかも」が集まれば、伊丹がますます魅力あるまちに

<主な意見>

- ・つながりを広げる
- ・自分のまちに誇りをもつ
- ・イベントに参加する
- ・伊丹を知ってもらう
- ・まちをおすすめする
- ・あいさつ
- ・笑顔



ワークショップを終えて

第3回ワークショップも**幅広い世代49名**にご参加いただきました。

今回は、これまで2回実施したワークショップの集大成。

伊丹のブランドコンセプトをみなさんと考えました。

参加者アンケートでは、**満足度100%！発言しやすさ100%！**

第3回も充実したワークショップとなりました。

ワークショップは今回までとなりますが、今後も参加者みなさんとは、伊丹ブランドを共に創る「同志」としてかかわっていきたいです。

みなさんからいただいた熱い想いやご意見をもとに、コンセプトと共にブランド戦略を策定してまいります。

ご期待ください！

伊丹市未来デザインワークショップ事務局

